

南海トラフ地震の情報に伴う学校の対応について

2024年8月に起きた宮崎県日向灘を震源地とする地震を受け、気象庁より「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表される事案がありました。

もし南海トラフ地震が発生すれば、非常に大きな被害が予想されており、地震に遭遇したとき、迅速かつ適切な行動をとることが重要です。「南海トラフ地震臨時情報」が発出された時点で学校において教育活動がなされている場合は下記のように対応しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

気象庁は、南海トラフ地震発生が危ぶまれる時または発生した時、その危険度に応じ、地震臨時情報を次の3つの段階で発表します。

南海トラフ地震臨時情報		
調査中	巨大地震警戒	巨大地震注意
<ul style="list-style-type: none"> 日ごろから地震に対する備えを再確認する。 情報収集に努める。 巨大地震警戒等、次の情報発表に備えた準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集に努める。 学校は1週間の臨時休業を基本とする。 学校災害対策本部を設置する。 避難者等の受け入れを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集に努める。 注意対応をとりながら学校活動を継続するが、発生した地震による被害や地震関連情報等の状況に応じて、下校や休校の措置を講じる。 避難者等の受け入れに備えた準備等を行う。
「調査終了」が発表されたら、平常の学校活動を継続する。		

上記に基づいて、学校における南海トラフ地震対策として、授業や各種活動の打ち切りや下校・休校措置は、下表のように「南海トラフ地震臨時情報」の巨大地震警戒・巨大地震注意が発表された時点で行います。

生徒の動き	巨大地震警戒が発表されている時	巨大地震注意が発表され、継続している時
在校中	情報収集し、状況に応じて直ちに授業を中止し、速やかに安全に下校させる。	情報収集し、学習活動等を継続しながら対応できるように準備する。場合によって下校時刻を変更するなど、登下校を含めより安全な対策を講じる。
登下校中	原則、自宅・学校の近い方を到着地点として移動し、安全を確保する。ただし、危険な状況がある場合は、距離に関わらず安全である場所へ避難する。	
在宅中	原則、自宅待機とし、各地区の避難体制に従って行動できるよう準備する。	